

義務教育学校推進室だより

令和元年10月24日 第33号

先進校視察に行ってきました



10月10日（木）に、義務教育学校の先進校である「大阪府池田市立ほそごう学園」へ視察に行ってきました。今回の視察は、市議会の市民文教委員会の視察へ同行する形で行い、1～9年生の児童生徒が実際に生活している校内の様子や、施設設備の様子を見てきました。

校内の視察後には、義務教育学校の成果等を直接伺うことができました。

【池田市立ほそごう学園】

池田市では、平成27年4月に、市の北部に位置する2小1中を統合し、施設一体型小中一貫校「ほそごう学園（細郷小学校・細郷中学校）」を開校した。そして、平成30年4月から義務教育学校に移行した。現在の児童生徒数は487名。学年段階の区切りは4-3-2としている。



【中庭の様子】



【職員室の様子】



【集会も実施可能な大階段】

【ほそごう学園の校長先生・副校長先生の話】

- ・開校前は、上級生による下級生への悪い影響が心配された。しかし、下級生に優しく接する上級生や、上級生の力強い姿に憧れを感じる下級生が多く見られるようになり、非常に良好な児童生徒の関係が成り立っている。高い教育効果があることが分かった。
- ・開校当初は教職員の戸惑い等も多少あったが、学校が軌道に乗り改善した。現在勤務している教職員には、前期・後期という所属にとらわれず、皆で協力して仕事を行う体制ができている。多くの教職員がほそごう学園での仕事にやりがいをもっていると感じる。
- ・開校後も試行錯誤を繰り返しながら、よりよい学校になるように教育計画等を改善している。5・7年の合同宿泊行事や、5年生からの部活動参加について検討中である。